

新春 令和八年 市長あいさつ

子どもが自分に自信を持ち、安心して健やかに育つことができるよう社会全体で支援することが重要です。令和8年度は「子どもの権利条例」を制定するため、部局横断的に研究会を立ち上げ協議を行います。

高齢者が生きがいを持って暮らすためには、大きく三つの支援が必要だと考えます。

一つ目は「仕事やボランティアなどで生涯社会と繋がれる仕組みづくり」です。シルバー人材センターなどと連携し、支援体制の強化を図ります。

二つ目は「安心して利用できる公共交通体系の維持」です。当事者の声に耳を傾けながら、これらの公共交通の在り方を示しています。

三つ目は「見守り体制の拡充」です。従来の見守りサービスに加え、情報通信技術を活用した新たな支援の導入について調査していきます。

キラリと輝く筑西市へ 一年を振り返って

あけましておめでとうございます。みなさまには健やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年は「情熱と行動力に満ちた飛躍の年」午年です。馬は力強さとスピードの象徴で、前進や開運を意味する動物と言われています。

「Think Globally, Act Locally」の精神のもと、地球規模で考え地域で行動し、「強さとスピード」を持って、ジエンダーの平等の視点を念頭に筑西市が前進できるよう市政運営に取り組んでいきます。



令和8年度未完成予定「屋外遊具広場」道の駅グランテラス筑西



令和7年3月完成「ちくせい総合健診センター」

ちを持ち、一年に一回は健診を受けていただきたいと思います。

二つ目は、西部メディカルセンターの経営です。全国の多くの公的病院が赤字経営であり、筑西市に限局した課題ではありません。原因の一つに物価・電気代の高騰などがありますが、黒字経営の病院もあることから、知恵を出し合い経営

安定に向けてチャレンジしてまいります。

三つ目は、医師・看護師不足です。市では人材確保のため、市独自の奨学生金制度による支援をはじめ、医師会や県と密に連携し、地域医療の魅力を発信するなど、医療従事者から選ばれるまちを目指し努力していきます。

オーガニックビレッジの推進

農林水産省の有機農業拡大目標を受け、市は「有機農業実施計画」の策定と、オーガニックビレッジ宣言を目指しています。

す。農業者アンケートで前向きな回答を得られたことから、JA北つくばとの連携により勉強会を開催しました。今後、有機米の試験栽培や研修会を実施し、農業者と共に有機農業を推進します。

また、手軽にオーガニック農産物を購入したいという市民の声に応え、道の駅グランテラス筑西にオーガニック農産物コーナーを設置する予定です。

誰もが社会に参加できる地域

障がいがある人もない人も、ともに地域の一員として活躍できる地域づくりの第一歩として、令和8年度末の完成を目指し、道の駅グランテラス筑西の拡張整備を進めています。拡張部には、障がいの有無に関わらず、誰もが遊ぶことができるインクルーシブ遊具などを設置した屋外遊具広場と駐車場が完成する予定です。遊びの中で、子どもたちが障がいや性別、言葉の違いなどを受け入れ、多様性を学ぶことを期待しています。

情熱と行動力の一年へ

直面するさまざまな課題に対し、行動力をもって解決に臨みます。市民のみなさまの足もとを照らし、「キラリと輝く筑西市」の実現に向け、全力を尽くす所存です。今年も市政運営へのご理解とご協力をお願いします。

